

鹿島地方事務組合人事行政の運営等の状況

(1) 職員の任免及び職員数に関する状況

部門別職員数の状況

部 門	区 分		職員数		対前年 増減数
			令和3年	令和4年	
普通 会計 部門	一般 行政 部門	総務	9	9	0
		衛生	8	8	0
		計	17	17	0
	消 防		298	300	2
	小 計		315	317	2
公務企業等会計部門	その他(市場)		1	1	0
合 計			316	318	2

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

採用・退職者数の状況

《採用》 (令和4年度試験実施者)

種別	受験者数	1次合格者	2次合格者	採用者数
一般行政職	0	0	0	0
消防職	25	18	8	8
計	25	18	8	8

《退職者》(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

区分	定年退職	勸奨退職	自己都合退職	その他	計
一般行政職	0	0	0	0	0
消防職	3	0	4	0	7
計	3	0	4	0	7

(2) 職員の給与の状況

①職員の平均年齢、平均給料月額及び給与月額の状況(令和4年4月1日現在)

(単位:円)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額(国ベース)
鹿島地方事務組合	38.8歳	296,039	406,002	344,281
茨城県(一般)	42.2歳	323,069	410,509	365,844
国(一般)	42.7歳	323,711	-	405,049

②職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

(単位:円)

区分	区分	鹿島地方事務組合	茨城県	国
一般行政職	大学卒	191,700	191,700	182,200
	高校卒	158,900	158,900	150,600
消防職	大学卒	204,200	-	-
	高校卒	169,800	-	-

(3) 昇給への勤務成績の反映状況

現在運用中の人事評価制度は人材育成の観点で運用しており、昇給への勤務成績の反映は行っていないが、実施に向け検討していく。

(4) 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

①職員の勤務時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時～午後1時

※ 隔日に勤務する職員の勤務時間は、午前8時30分から翌日の午前8時30分まで

②時間外勤務の状況(令和4年度)

時間外勤務総時間数	職員一人当たりの時間外勤務総時間数
23,499	85.58

③年次有給休暇の取得状況(令和4年)

総付与日数 A	総使用日数 B	対象職員数 C	平均取得日数 B/C	取得率 B/A
12,251	3,180	316	10.7	25.30%

## (5) 職員の分限及び懲戒処分の状況

## ①分限処分者数(令和4年度)

区分	降任	免職	休職	降給	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	3	0	3
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職、過員を生じた場合	0	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0	0
条例で定めた事由による場合	0	0	0	0	0

## ②懲戒等処分者数(令和4年度)

区分	免職	停職	減給	戒告	計
法令に違反した場合	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し又は職務を怠った場合	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	0	0	0	0	0

## (6) 職員の服務の状況

## 育児休業承認状況(令和4年度新規承認者)

区分	男性	女性
育児休業の承認件数	7	0
育児休業期間延長の承認件数	0	0

## 介護休暇承認状況(令和4年度新規承認者)

区分	男性	女性
介護休暇承認状況	0	0

## (7) 職員の研修状況

区分	実施主体	研修種別	実施回数	受講人数
集合研修	消防学校	初任教育	2	10
		専科教育	7	17
		幹部教育	0	0
		特別教育	1	1
	消防大学校	総合教育	1	1
		専科教育	1	1
	救急振興財団	専門研修	2	3
派遣研修	労働基準協会	安全衛生教育	3	6
	建設業災害防止協会	安全衛生教育	2	4
	安全運転中央研修所	安全衛生教育	1	2
	安全衛生推進協会	安全衛生教育	0	0
	海技専門学院	安全衛生教育	1	1
	その他(医療機関等)	安全衛生教育	9	13
合計			30	59

## (8) 職員の福祉及び利益の保護の状況

z

事業	実施項目	参加者(受診者)
各種健康診断の実施	定期健康診断	194
	肝炎ウイルス検査	290
	胃部検査	0
	大腸ガン検診	201
	喀痰検査	5
	子宮ガン検査	0
	乳がん検査	0
	前立腺ガン検査	26
	人間ドック検診	109

②互助会事業

鹿島地方事務組合職員互助会の概要

設置目的	職員の相互共済及び福利増進を目的とする。
会員数	303人(令和4年4月1日)
掛金	給料月額 × 1,000分の1.5
公費補助金額 ※1	674,800円(令和4年度実績)
会員一人あたりの公費補助額 ※1	約2,227円(令和4年度実績)

※1 福利厚生事業の人間ドック補助及びインフルエンザ助成についてののみ、公費補助対象となっています。

給付事業

種別	給付額及び条件	提出書類	摘要
出産費	出産費 10,000円	短期給付請求書	夫婦とも会員の場合は一方に給付する。
配偶者出産費	配偶者出産費 10,000円		
弔慰金	・殉職 60,000円 ・殉職以外 40,000円	短期給付請求書	
家族弔慰金	・配偶者 30,000円 ・父母(血族、同居の姻族)及び子 20,000円 ・前号に掲げる者以外の同居家族 5,000円	短期給付請求書	同一世帯の会員の場合は代表者に給付する。
災害見舞金	居室について 1 火災の場合 (1)半焼以上 60,000円 (2)半焼未満 20,000円 2 風水害の場合 (1)半壊以上 60,000円 (2)半壊未満 20,000円 3 地震の場合 (1)半壊以上 60,000円 (2)半壊未満 20,000円	短期給付請求書	同一世帯の会員の場合は代表者に給付する。
療養見舞金	会員が1ヶ月以上入院加療若しくは自宅療養した場合 10,000円	短期給付請求書	

福利厚生事業

種別	給付額及び条件	提出書類	摘要
短期人間ドック・脳併診ドック・PET併診ドック補助金	会員が短期人間ドック・脳併診ドック・PET併診ドックに入り検診を受けた場合自己負担額の1/2を支給する。 限度額 短期人間ドック 5,000円 脳併診ドック 15,000円 PET併診ドック 15,000円	福利厚生請求書 領収書	・年度間一回の給付とする。ただし、職員検診を受けた場合は給付しない。
インフルエンザ注射助成金	会員がインフルエンザ注射を受けた場合、茨城県市町村職員共済組合等の補助金を差引いた自己負担額の1/2を給付する。 限度額 1,500円	福利厚生請求書 領収書	・年度間一回の給付とする。
成人祝金	会員が成人を迎えたとき 5,000円	福利厚生請求書	
結婚祝金	会員が結婚した場合 10,000円	福利厚生請求書 戸籍抄本の写し	
銀婚記念品	会員が結婚25年を迎えたとき 10,000円程度の品	各種記念品給付請求書 戸籍抄本の写し	
永年勤続者記念品	・会員が勤続20年を迎えたとき 10,000円程度の品 ・会員が勤続30年を迎えたとき 20,000円程度の品	各種記念品給付請求書	
退職餞別金	基本額を10,000円とし、勤続年数(勤続期間に1年未満の端数がある場合には6月未満は切捨て、6月以上はこれを1年とする。)に1,000円を乗じてこれに加算した額	退職餞別金請求書	

親睦会補助	職員の懇親会 1,000円	福利厚生請求書 領収書	年度1人1件とし、補助金額を下回る場合には 実費額とする。
クラブ助成金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 均等割 1クラブ当たり 30,000円</li> <li>・ 部費割 部員1人につき部費1月分</li> <li>・ 部員割 1人当たり 1,000円</li> <li>・ 報償費 講師謝礼の半額助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ助成請求書</li> <li>クラブ規約</li> <li>事業計画</li> <li>予算書</li> <li>部員名簿</li> </ul>	

③公務災害・通勤災害の状況(令和4年度)

区分	公務災害	通勤災害	計
鹿島地方事務組合	0	0	0

(9) 鹿島地方公平委員会からの報告事項(鹿島地方事務組合に係る分)

- ①給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求の状況 **事案なし**
- ②不利益処分に関する不服申立ての状況 **0件**